

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1558 号

Serum brain-derived neurotrophic factor concentrations and personality trait in patients with major depression

(うつ病患者における BDNF 血中濃度と気質・性格特性について)

野本 宏 (のもと ひろし)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、うつ病患者を対象とし、脳由来神経栄養因子(BDNF)濃度と気質・性格特性の関連について検討したものである。うつ病患者では BDNF の血中濃度が低下するとされるが、低下しない群も存在する。近年、BDNF 濃度とうつ病親和性性格傾向の関連が報告されているが、対象は健常者に限られるため、本論文では、うつ病患者を対象とした。患者は DSM-IV (Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders) の大うつ病性障害の基準を満たした入院患者 123 例であり、性格傾向は TCI(Temperament and Character Inventory) を用いて評価した。重回帰分析では、TCI の自己志向性 (Self-Directedness : SD) と血清 BDNF 濃度との負の関連が示された。SD には、自己責任・目的指向・臨機応変・自己受容・自己啓発など、うつ病発症を防ぐ心理的機能が含まれる。SD の低さは性格の未熟さを表すとされており、SD が低い患者では、BDNF 濃度が低下するほどの侵襲に晒される前に、日々の些細なストレスや望まざる出来事などで、容易にうつ状態に陥る可能性が示唆された。

BDNF と気質・性格特性の関連は過去に報告されているが、対象は健常者に限られており、結果も一定していない。今回、うつ病患者で血清 BDNF 濃度と気質・性格特性の関連が証明できたことは学術的意義が大きいと考える。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。